

市民協働事業 相互評価シート

◎ 市民協働事業の概要

事業名称	とつか区民活動センター運営事業																									
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 くみんネットワークとつか																								
	行政	横浜市																								
事業の目的	市民活動、生涯学習活動及びボランティア活動の支援を通して、市民の理解と参画のもとに、区民力の向上と豊かな地域づくりを図ることを目的とする。																									
事業の内容	<p>運営法人と行政が協働で、とつか区民活動センター及び戸塚区役所3階情報コーナーにおいて、次の事業を実施する。</p> <p>(1) 活動団体のネットワーク化 (2) 活動の支援 (3) 場の提供 (4) 情報の提供 (5) 企画事業の実施</p>																									
役割及び責任 分担等	協働契約書第8条に基づき、それぞれに次に掲げる役割を分担し、その役割について、それぞれの責任で行う。																									
	事業項目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業項目</th> <th>受託者の役割</th> <th>委託者の役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託者・委託者が共に果たす役割</td> <td colspan="2"> 1 事業運営に関する情報共有。 2 定期的な共同会議の開催。 3 第三者（利用者・事業運営評議会等）の意見や提案についての協議・検討 </td> </tr> <tr> <td>事業全般に関する こと</td> <td> 1 事業への市民認知度を上げるための広報活動等。 2 相談スタッフのスキルアップを図るため、スタッフ間の情報共有及び研修機会の提供。 </td> <td> 1 認知度を上げる広報活動等への協力。 2 スタッフへの研修情報提供。 </td> </tr> <tr> <td>活動団体のネット ワーク化</td> <td> 1 市民や団体同士が交流する機会や場の提供。 2 区内、市内の施設や団体等とのネットワーク構築。 </td> <td> 1 関係機関との連絡調整。 2 ネットワーク構築及び推進に必要な情報提供。 </td> </tr> <tr> <td>活動支援 (相談・コーディネート等)</td> <td> 1 適切な相談対応により市民ニーズや課題を把握。 2 把握したニーズや課題に応じて次の事項等を行い、市民の課題解決の手助け。 (1) 情報提供 (2) 適切な機関や人につなぐ (3) 活動団体の立ち上げ (4) 新たなしくみの構築 </td> <td> 1 市民活動支援のための助成金等の情報提供。 2 市民ニーズや課題解決に必要な情報を受託者とともに的確に把握し、事業運営に反映。 </td> </tr> <tr> <td>場の提供 (会議室やミーテ ィングルームの 提供)</td> <td> 1 わかりやすく、利用しやすいルールづくり。 2 利用しやすい雰囲気づくり。 </td> <td> 1 施設の利用方法等について受託者と協議し、方針決定。 </td> </tr> <tr> <td>情報の提供</td> <td> 1 市民活動等に関する情報をより多く収集し、市民や行政に提供。 2 広報紙の発行。 3 ホームページを開設し、市民活動等の情報を提供。 </td> <td> 1 区広報紙面の確保等、広報機会の協力。 2 行政にかかわる情報を受託者に提供、共有し事業運営に協力。 </td> </tr> <tr> <td>企画事業の実施</td> <td> 1 活動入門事業の実施。 2 ネットワーク事業の実施。 3 スキルアップ事業の実施。 4 その他活動支援につながる事業の実施。 </td> <td> 1 事業実施支援 </td> </tr> </tbody> </table>	事業項目	受託者の役割	委託者の役割	受託者・委託者が共に果たす役割	1 事業運営に関する情報共有。 2 定期的な共同会議の開催。 3 第三者（利用者・事業運営評議会等）の意見や提案についての協議・検討		事業全般に関する こと	1 事業への市民認知度を上げるための広報活動等。 2 相談スタッフのスキルアップを図るため、スタッフ間の情報共有及び研修機会の提供。	1 認知度を上げる広報活動等への協力。 2 スタッフへの研修情報提供。	活動団体のネット ワーク化	1 市民や団体同士が交流する機会や場の提供。 2 区内、市内の施設や団体等とのネットワーク構築。	1 関係機関との連絡調整。 2 ネットワーク構築及び推進に必要な情報提供。	活動支援 (相談・コーディネート等)	1 適切な相談対応により市民ニーズや課題を把握。 2 把握したニーズや課題に応じて次の事項等を行い、市民の課題解決の手助け。 (1) 情報提供 (2) 適切な機関や人につなぐ (3) 活動団体の立ち上げ (4) 新たなしくみの構築	1 市民活動支援のための助成金等の情報提供。 2 市民ニーズや課題解決に必要な情報を受託者とともに的確に把握し、事業運営に反映。	場の提供 (会議室やミーテ ィングルームの 提供)	1 わかりやすく、利用しやすいルールづくり。 2 利用しやすい雰囲気づくり。	1 施設の利用方法等について受託者と協議し、方針決定。	情報の提供	1 市民活動等に関する情報をより多く収集し、市民や行政に提供。 2 広報紙の発行。 3 ホームページを開設し、市民活動等の情報を提供。	1 区広報紙面の確保等、広報機会の協力。 2 行政にかかわる情報を受託者に提供、共有し事業運営に協力。	企画事業の実施	1 活動入門事業の実施。 2 ネットワーク事業の実施。 3 スキルアップ事業の実施。 4 その他活動支援につながる事業の実施。	1 事業実施支援
	事業項目	受託者の役割	委託者の役割																							
	受託者・委託者が共に果たす役割	1 事業運営に関する情報共有。 2 定期的な共同会議の開催。 3 第三者（利用者・事業運営評議会等）の意見や提案についての協議・検討																								
	事業全般に関する こと	1 事業への市民認知度を上げるための広報活動等。 2 相談スタッフのスキルアップを図るため、スタッフ間の情報共有及び研修機会の提供。	1 認知度を上げる広報活動等への協力。 2 スタッフへの研修情報提供。																							
	活動団体のネット ワーク化	1 市民や団体同士が交流する機会や場の提供。 2 区内、市内の施設や団体等とのネットワーク構築。	1 関係機関との連絡調整。 2 ネットワーク構築及び推進に必要な情報提供。																							
	活動支援 (相談・コーディネート等)	1 適切な相談対応により市民ニーズや課題を把握。 2 把握したニーズや課題に応じて次の事項等を行い、市民の課題解決の手助け。 (1) 情報提供 (2) 適切な機関や人につなぐ (3) 活動団体の立ち上げ (4) 新たなしくみの構築	1 市民活動支援のための助成金等の情報提供。 2 市民ニーズや課題解決に必要な情報を受託者とともに的確に把握し、事業運営に反映。																							
	場の提供 (会議室やミーテ ィングルームの 提供)	1 わかりやすく、利用しやすいルールづくり。 2 利用しやすい雰囲気づくり。	1 施設の利用方法等について受託者と協議し、方針決定。																							
	情報の提供	1 市民活動等に関する情報をより多く収集し、市民や行政に提供。 2 広報紙の発行。 3 ホームページを開設し、市民活動等の情報を提供。	1 区広報紙面の確保等、広報機会の協力。 2 行政にかかわる情報を受託者に提供、共有し事業運営に協力。																							
企画事業の実施	1 活動入門事業の実施。 2 ネットワーク事業の実施。 3 スキルアップ事業の実施。 4 その他活動支援につながる事業の実施。	1 事業実施支援																								
実施期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで																									

◎ 事業評価相互検証シート

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 <ul style="list-style-type: none">・区が提示した「とつか区民活動センター運営事業」の仕様書をもとに、NPO法人くみんネットワークとつかが年間事業計画を作成し、双方の同意のもと、事業を実施することができた。・区とセンターがそれぞれ実施する事業が時期的に重ならないよう配慮した。
【今後改善が必要と思われること】 <ul style="list-style-type: none">・区民の皆様のニーズを踏まえ、とつか区民活動センター運営事業を含む区民活動支援事業をどのように推進していくのか、共通の認識を持って、それぞれが事業を検討し、取り組んでいくことを、今後も更に継続して行う必要がある。・センターが地域振興課以外の課との連携を進めるにあたっては、地域振興課が窓口となり、円滑に連絡体制を整えることができるよう支援する必要がある。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 <ul style="list-style-type: none">・毎月のスタッフ会議と三者連絡会で事業の進捗状況の確認や情報共有を行い、お互いにアドバイスや情報発信のサポートなどを提案しあうなど、協力して事業を推進することができた。
【今後改善が必要と思われること】 <ul style="list-style-type: none">・利用者意見交換会など区民の皆様のご意見を伺う機会を活用し、活動入門事業や人材育成・スキルアップ事業について、更に効果を高めていけるよう検討を継続する必要がある。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか)
<ul style="list-style-type: none">・利用者意見交換会でスキルアップ講座に関するご意見を伺い、講座のテーマを見直した結果、「助成金講座」にセンターの登録者から多数の参加申し込みがあった。・生涯学習活動・ボランティア活動・市民活動を行う個人・団体が出展し、交流を図る「第5回とつかお結び広場」の実施に向けて、区とセンター担当者が密に連絡を取り合い、準備を進めた結果、急きょ会場の範囲が変更になった際にも迅速に対応することができた。・とつか区民活動センターと区役所3階情報コーナーの立地を生かし、それぞれ適切な情報提供に努めた結果、年間を通して、実施した事業の参加者から高い評価を得ることができた。・区とセンターが事業に関する情報共有を積極的に行ったことにより、センターは登録団体や個人に対して、センターが提供できる活動発表の場のみでなく、区が開催する区民広間コンサートや各種補助金事業につなげることができ、活躍の場を拡げることができた。
自由記入欄